

鳥取にしえ木の文化

～出土木製品が語る人々の暮らし～

令和元年5月16日(木)
鳥取県埋蔵文化財センター
文化財主事 家塚英詞

問題 この道具、いつからあるのでしょうか？

現代の手箕



弥生時代前期:約2400年前



金沢坂津口遺跡

1 序 鳥取西道路の発掘調査と木製品



令和元年6月12日金曜開催

西道路建設に伴う発掘調査実施地点



32遺跡 延べ調査面積75万㎡

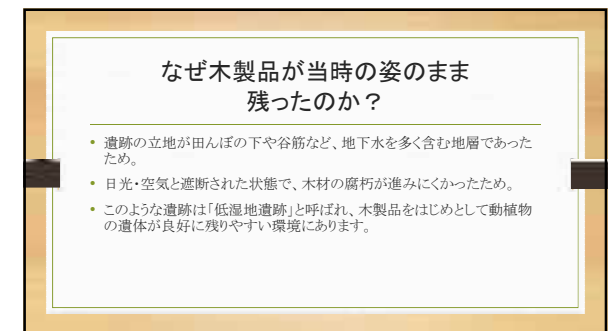
青谷横木遺跡



会下・郡家遺跡







2 いにしへの暮らしの中の
木製品

①生活の道具 衣食住など



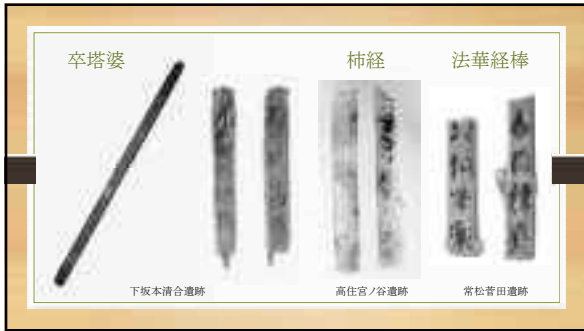
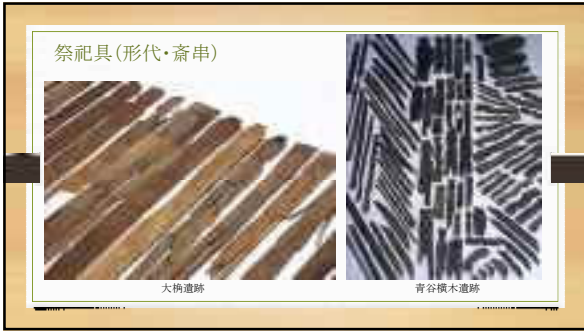












3 木製品の秘密に迫る

①木材の構造と性質

3 木製品の秘密に迫る

②樹種と器種・加工技術

問題：日本国内に生育する樹木は約1200～1300種あります。
そのうち遺跡から出土したのは何種類でしょうか？

- 答え 352種。・・・ただし、同定できない樹種も含まれる。
- アカガシ亜属・・・アカガシ、アラカシ、イチイガシ、ウバメガシ、ウラジロガシ、シラカシ、ツクバネガシ、ハナガシの8種が含まれる。
- カエデ属・・・オオモミジ、ヤマモミジ、アサノハカエデ、ホソエカエデ、チドリノキ、ミツデカエデ、ウリカエデ、カジカエデ、ヒトツバカエデ、カラコギカエデ、ハウチワカエデ、シマウリカエデ、・・・の27種が含まれる。

国内出土木材ベストテン

- 1位：スギ(9.5%)・・・建築材・容器
- 2位：クリ(8.0%)・・・建築材・容器
- 3位：クスギ節(6.3%)・・・農具
- 4位：ヒノキ(5.8%)・・・建築材・木筒
- 5位：コナラ節(5.2%)・・・農具
- トネリコ属(4.4%)・・・容器
- アカガシ亜属(4.3%)・・・農具
- モミ属(3.9%)・・・盾
- トチノキ(2.5%)・・・容器
- ケヤキ(2.3%)・・・容器

樹種	割合	用途
スギ	9.5%	建築材・容器
クリ	8.0%	建築材・容器
クスギ節	6.3%	農具
ヒノキ	5.8%	建築材・木筒
コナラ節	5.2%	農具
トネリコ属	4.4%	容器
アカガシ亜属	4.3%	農具
モミ属	3.9%	盾
トチノキ	2.5%	容器
ケヤキ	2.3%	容器

樹種の特徴



木取りの種類

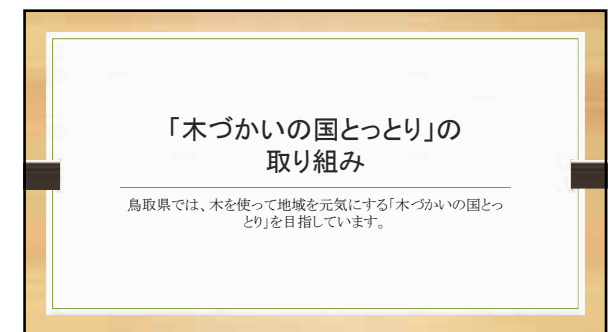
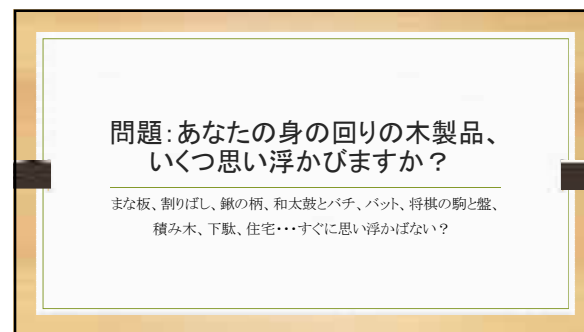
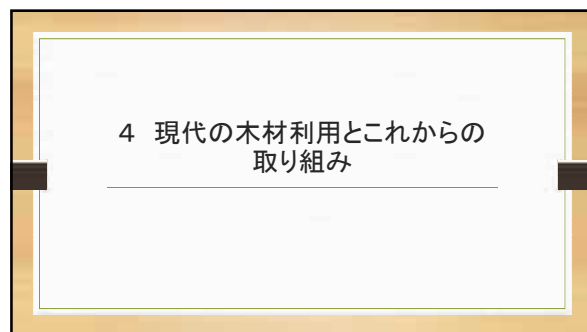
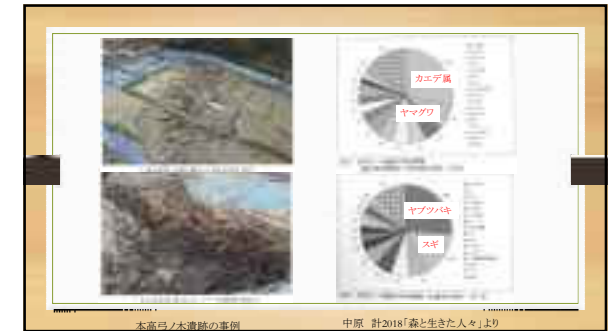
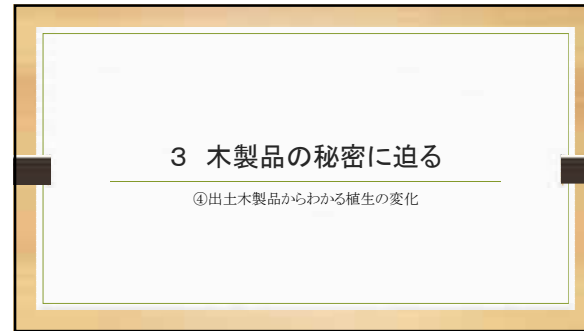
漆工の技術～下坂本清合遺跡の漆器～



3 木製品の秘密に迫る

③デザイン





ご存知ですか？鳥取県の森林のこと

- 鳥取県の森林は県土の74%を占めています。さらに、森林の89%を占める民有林はその過半が人工林となっています。
- また、人工林の5割をスギ、3割をヒノキ、2割をマツが占めています。
- (人工林とは、主に木材を生産するために人の手で植えたりして育てている森林です。)

森が生きる～森林を守り育てていく～

- (1) 持続可能な森林経営の確立
 - 持続可能な森林経営を確立し、森林の有する公益的機能を持続的に発揮していきます。
- (2) 里山とともに生きる営みを推進
 - 森林からの恵みを利用した営み・暮らしを推進するため、里山における広葉樹林や竹林などの整備を進めます。
- (3) 森の活用、カーボン・オフセットの森づくりの推進
 - 都会で働く人の癒しの場や子育ての場としての森林の活用等を推進するとともに、地球温暖化防止に向けた仕組みである「カーボン・オフセット」を活用した森づくりの一層の推進を図ります。

木が生きる～木を使って地域を元気にする～

- (1) 県産材の利用拡大
 - 県産材製品の開発・供給・利用を推進します。
- (2) 木質バイオマス利用の推進
 - これまで搬出されず林内に放置されていた残材を熱や発電に利用することにより、化石燃料の代替を図り、地域の活性化や地球温暖化防止に貢献します。
- (3) 林産物の高度利用
 - 原生林の造成など原木しいたけの増産と品質向上のための取組や菓用きのこ実用化に向けた取組をすすめます。

人が生きる～森を舞台に人が育つ～

- (1) 森林を支える人づくり
 - 林業を支える担い手の確保・育成や低コスト林業に向けた人材・林業事業体の育成・強化を図ります。
- (2) 社会貢献活動を通じた人づくり
 - 企業の社会貢献活動の場として、森林を活用し、人づくりや地域の賑わい創出を推進します。

埋蔵文化財センターの調査研究

6万点以上の木製品の調査

屋外保管：廃校のグラウンドに仮設水槽を設置して水漬け保管



屋内保管:コンテナの中で真空パック状態で保管



1点ずつ取り出し、状態、特徴、寸法などを記録してデータ化する。



終わりに ~1800年の時を越えて
つながるデザイン

弥生時代後期の腰掛 現代のスツール



乙亥正屋敷廻遺跡 鳥取県大山町 桑原 正氏作